



2008年07月25日
独立行政法人海洋研究開発機構

「地球シミュレータ産業利用シンポジウム2008」の開催について

独立行政法人海洋研究開発機構(理事長 加藤康宏)では、我が国の産業発展に向けた地球シミュレータの産業利用の推進を積極的に行っており、文部科学省が実施している「先端研究施設共用イノベーション創出事業【産業戦略利用】」の一環として「地球シミュレータ産業戦略利用プログラム」を実施しています。また、産業界などを対象とした地球シミュレータの有償利用サービスも実施しております。

このような産業利用の取り組みについてご理解いただくため、下記により「地球シミュレータ産業利用シンポジウム2008」を開催しますので、お知らせします。

本シンポジウムでは、平成19年度地球シミュレータ産業戦略利用プログラムでの民間企業による利用成果報告を中心に、産業界と連携してソフトウェアの開発を行っている東京大学教授・革新的シミュレーション研究センター 加藤千幸センター長による招待講演の他、地球シミュレータで実際に稼働している数値シミュレーション・ソフトウェアの計算事例の紹介等も行います。

記

1. 日時: 平成20年9月5日(金)10:00～16:30(9:30開場)
2. 会場: 学術総合センター 2F中会議室([別紙1参照](#))
東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号
3. プログラム: [別紙2参照](#)
4. 入場料: 無料
5. 参加登録: 下記URLから登録をお願いします。ただし、定員(130名)を超えるお申し込みをいただいた場合は、登録できない場合があります。
http://www.jamstec.go.jp/es/jp/info/sangyou_sympo_h20.html
・参加登録〆切: 平成20年9月2日(火)17:30※
(※申込人数が定員に達した場合、〆切前に締め切る場合がございます。)
・参加登録に関するお問合せ先:
独立行政法人海洋研究開発機構 計算システム計画・運用部
地球シミュレータ産業利用シンポジウム事務局(担当:佐藤)
Phone/FAX : 045-778-5456 / 045-778-5491
E-mail : sangyou-sympo@jamstec.go.jp
6. 主催: 独立行政法人海洋研究開発機構

会場位置

別紙1



[会場地図\[PDF: 142KB\]](#)

別紙2

プログラム		
9:30	開場・受付	
10:00-10:10	主催者挨拶	独立行政法人海洋研究開発機構 理事 末廣 潔
基調講演		
10:10-10:40	先端研究施設の共用とHPCへの期待～イノベーション創出のために～	文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課 課長 田口 康
事業説明		
10:40-11:10	地球シミュレータ産業利用への取り組み	独立行政法人海洋研究開発機構 計算システム計画・運用部 産業利用推進グループリーダー 新宮 哲
招待講演		
11:10-11:40	計算科学シミュレーションによる21世紀のものづくりプロセスの変革	東京大学 生産技術研究所 副所長・教授 革新的シミュレーション研究センター長 加藤 千幸
11:40-13:00	休憩	
地球シミュレータ産業戦略利用プログラムによる成果報告(1)		

13:00-13:30	新幹線車両の空力騒音シミュレーション	東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 先端鉄道システム開発センター 水島 文夫
13:30-14:00	ゴム中のナノ粒子ネットワーク構造のモデル構築による高性能タイヤの開発	住友ゴム工業株式会社 研究開発本部材料プロセス研究部 主査 皆川 康久
14:00-14:15	休憩	
地球シミュレータ産業戦略利用プログラムによる成果報告(2)		
14:15-14:45	二酸化炭素地下貯留に関する大規模シミュレーション技術の開発	大成建設株式会社 技術センター 土木技術研究所 主任研究員 山本 肇
14:45-15:15	CO2排出ミニマムを目指した実高炉内の多相(固気粉)流れの大規模シミュレーション	新日本製鐵株式会社 技術開発本部 環境・プロセス研究開発センター製鉄研究開発部 主幹研究員 松崎 眞六
15:15-15:25	休憩	
産業用アプリケーションの最新状況		
15:25-15:50	第一原理擬ポテンシャル平面波法ソフトPHASEによる物質・材料シミュレーション	東邦大学 理学部 助教 山本 武範
15:50-16:20	フラグメント分子軌道法プログラムABINIT-MPによる超大規模バイオシミュレーション	国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 第四室 主任研究官 (兼) 共用促進リエゾン 中野 達也
16:20-16:30	閉会の挨拶	独立行政法人海洋研究開発機構 計算システム計画・運用部 部長 平野 哲

[プログラム\[PDF: 240KB\]](#)

お問い合わせ先:

独立行政法人海洋研究開発機構
(本シンポジウムについて)

計算システム計画・運用部

産業利用推進グループ グループリーダー 新宮 哲

(報道について)

経営企画室 報道室長 村田 範之